

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立南小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

◎計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

◎実施している

- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・授業では、様々な活動を楽しみながら新しい語句や表現の練習に取り組んでおり、時間の経過とともにそれらを習得していく様子が見られる。よって、第1学年からの英会話学習の実施は、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成や英語に慣れ親しむことにつながっていると思われる。
- ・第1学年からの英会話学習の積み重ねで、多くの児童は、ALTやEAAと臆することなく会話をし、コミュニケーションを楽しんでいる。休み時間には、子供たちから話しかける姿や遊びに誘う姿が多く見られる。
- ・「英語をもっと話してみたい」「外国へ行ってみたい」という声が聞かれ、外国語や外国の文化への興味・関心の高まりがうかがえる。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- 英会話学習を通して、英語が好きになった。
- ALTやEAAと話すと話すことが楽しい。英語の発音が分かりやすい。
- 英語を勉強することで、様々な人と挨拶を交わしたり話したりする機会が増えた。コミュニケーションがとれるようになった。自己紹介ができるようになった。
- 学年が上がって学習内容は難しくなったが、覚えたいという気持ちが強くなった。

<保護者>

- 第1学年からの英会話学習の実施は、早い段階から英語に慣れ親しむことができている。
- ゲーム的要素を取り入れ、低学年から遊び感覚で英語を学ぶことによって、興味・関心が高まっていると思う。
- 英語チャレンジDAYが楽しかったと子供が話してくれた。英語に親しむ良い機会になっていると思う。
- 高学年になっても、第1学年からの英会話学習のおかげで、子供は、外国語の授業が楽しいと言っている。

3. 実施の効果及び課題

- 第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむこと、簡単な挨拶や会話をして英語でコミュニケーションを図ること、外国語や外国への興味・関心を高めることなどにおいて成果が見られた。
- 学習指導要領に示す「外国語活動」や「外国語科」の学習への抵抗を和らげる効果も感じられる。
- 5、6年の外国語科の授業には、「読むこと」「書くこと」が加わり、苦手意識をもち始める児童が見られる。それまで培ってきた「話す」「聞く」力を最大限に生かし、新たな言語活動にも興味・関心をもって意欲的に取り組ませたい。
- 今年度、3年生以上の「外国語活動」と「外国語科」の授業を英語専科教員が指導している。「英会話学習」は担任が受け持つため、それらを関連付けたり時期や日程を調整したりすることが難しい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- 「読むこと」「書くこと」については、児童にとって身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しませる活動を経てから取り組ませるようにする。
- タブレットを用いて、ローマ字入力等に取り組ませるなど、ローマ字の習得に力を入れ、アルファベットを読んだり書いたりする際の抵抗を和らげたい。
- ALTやEAA、英語専科、担任の打合せを充実させ、計画的に学習が進められるようにする。「外国語活動」や「外国語科」と「英会話学習」の関連を効果的に図れる時期や日程、指導法を検討する。